

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【公開番号】特開2002-257955(P2002-257955A)

【公開日】平成14年9月11日(2002.9.11)

【出願番号】特願2001-311493(P2001-311493)

【国際特許分類第7版】

G 04 C 3/00

G 04 C 3/14

G 06 K 19/00

G 06 K 19/07

G 07 B 11/00

G 07 B 15/00

// B 42 D 15/10

【F I】

G 04 C 3/00 B

G 04 C 3/14 S

G 07 B 11/00 501

G 07 B 15/00 J

G 07 B 15/00 501

G 06 K 19/00 H

G 06 K 19/00 Q

B 42 D 15/10 521

B 42 D 15/10 541 E

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月7日(2004.10.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

機械的に駆動される時表示部材を有し、時の表示を前記時表示部材によって行う時計モジュールと、

外部の無線装置との間でデータの送受信を無線通信により行い、前記データを記憶する無線通信回路部と、を備えた通信機能付腕時計装置であって、

前記データに対応する情報を表示させるべく前記時表示部材に表示動作を行わせるデータ表示部を具備した

ことを特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項2】

請求項1記載の通信機能付腕時計装置において、

前記データの値と予め決められた所定データの値とを比較し比較結果データを生成する比較部を備え、

前記データ表示部は、前記データに対応する情報として、前記比較結果データに対応する情報を表示する、

ことを特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項3】

請求項 1 または請求項 2 記載の通信機能付腕時計装置において、
前記データ表示部は、前記表示動作時に前記時表示部材を構成する秒針の運針を通常運針と異なる変則運針とする
ことを特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項 4】

請求項 1 ないし請求項 3 のいずれかに記載の通信機能付腕時計装置において、
前記無線通信回路部は、前記外部の無線装置の通信圏内において送信されるポーリング信号を受信することにより当該無線装置との間で前記無線通信が可能である旨を表す通信可信号を前記無線装置に送信する
ことを特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項 5】

請求項 1 ないし請求項 4 のいずれかに記載の通信機能付腕時計装置において、
前記データ表示部は、前記通信機能付腕時計装置の筐体に設けたスイッチによって前記表示動作を開始する
ことを特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項 6】

請求項 1 ないし請求項 5 のいずれかに記載の通信機能付腕時計装置において、
前記データ表示部は、前記表示動作時に前記時表示部材を構成する秒針を報知直前の位置から予め定めた量だけ運針させる
ことを特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項 7】

請求項 1 ないし請求項 5 のいずれかに記載の通信機能付腕時計装置において、
前記データ表示部は、前記表示動作時に前記時表示部材を構成する秒針を予め定めた位置に移動させる
ことを特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項 8】

請求項 1 ないし請求項 5 のいずれかに記載の通信機能付腕時計装置において、
前記時表示部材は、少なくとも曜日或いは日に対応した表示を行う文字盤を含み、
前記データ表示部は、前記データに対応する情報について、前記文字盤により表示させる
ことを特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項 9】

請求項 1 ないし請求項 5 のいずれかに記載の通信機能付腕時計装置において、
前記時表示部材として、時刻表示を行うための文字盤とは別個に設けられた曜日あるいは日を表示する他の文字盤と、を備え、
前記データ表示部は、前記他の文字盤により前記データに対応する情報の表示を行う
ことを特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項 10】

請求項 1 ないし請求項 5 のいずれかに記載の通信機能付腕時計装置において、
前記時表示部材として、計測した時間を表示するストップウォッチ表示を行うためのストップウォッチ指針及びストップウォッチ文字盤を備え、前記ストップウォッチ指針及び前記ストップウォッチ文字盤により前記データに対応する情報の表示を行う
ことを特徴とする通信機能付腕時計。

【請求項 11】

請求項 2 記載の通信機能付腕時計装置において、
前記データ表示部は、前記データの値が前記所定データの値よりも小さくなったときに前記表示動作を行い、
前記所定データの値は、前記外部の通信装置から送信される更新信号に基づいて更新される
ことを特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項 1 2】

請求項 1 ないし請求項 1 1 のいずれかに記載の通信機能付腕時計装置において、前記無線通信回路部は、データの変復調を行う通信部、各部を制御する制御部およびデータを記憶する記憶部を有する I C チップと、を具備したことと特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項 1 3】

請求項 6、7、8、9 のいずれかに記載の通信機能付腕時計装置において、前記時計モジュールは、前記表示動作を所定時間行った後に、時刻表示を再開することと特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項 1 4】

請求項 1 ないし請求項 1 3 のいずれかに記載の通信機能付腕時計装置において、前記無線通信回路部は、外部の無線装置からの信号を受信し、この受信した信号から電源電圧を生成する電源電圧生成部を備え、前記データ表示部は、前記時計モジュールの電源を用いて前記無線通信回路部からデータを読み出すことを特徴とする通信機能付腕時計装置。

【請求項 1 5】

機械的に駆動される時表示部材を有し、時の表示を前記時表示部材によって行う時計モジュールと、外部の無線装置との間でデータの送受信を無線通信により行い、前記データを記憶する無線通信回路部と、を備えた通信機能付腕時計装置の情報表示方法であって、指令信号に基づいて前記無線通信回路部から前記データを読み出すステップと、前記データに対応する情報を表示させるべく前記時表示部材による表示動作を行うステップと、を具備した

ことを特徴とする通信機能付腕時計装置の情報表示方法。

【請求項 1 6】

機械的に駆動される時表示部材を有し、時の表示を前記時表示部材によって行う時計モジュールと、外部の無線装置との間でデータの送受信を無線通信により行い、前記データを記憶する無線通信回路部と、を備えた通信機能付腕時計装置をコンピュータにより制御するための制御プログラムであって、

外部からの指令を検出させ、前記指令に基づかせて前記無線通信回路部から前記データを読み出させ、

前記データに対応する情報を表示させるべく前記時表示部材に表示動作を行わせる
ことを特徴とする制御プログラム。

【請求項 1 7】

請求項 1 6 に記載の制御プログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。